

公益信託世田谷まちづくりファンド

第31回助成事業 審査講評

まちづくり活動部門

【3回目応募グループ】

< 4-1 記憶をつなぎ人をつなぐ世田谷区庁舎をのぞむ会 >

- ・街の形が変わるといふときに、いや変えないほうが良い、前の形に価値があるんだ、という声が出ることは、当然あつてしかるべきと思います。その上で、反対運動であること（もし違うのだとしてもそう見られること）をどう乗り越えるのか？ 立場の異なる人々、たとえば新しい庁舎のプロジェクトを推進する側で情熱を燃やしている設計事務所や建設会社の若い人たちにとつても、意味のある取り組みにする意識を、強く持つていただければと思います。

< 4-2 HOME IN JAPAN >

- ・昨年度の活動から、新たに属性の異なる方々が運営メンバーとして加わっており、プレイヤー側の輪も広がっていることにより可能性を感じました。本当に必要な人や当事者に情報が届くには時間がかかるとは思います。今後も地域資源とのつながりを育みながら、皆さんのチャレンジ精神で、より活動を展開していただければ幸いです。次年度以降も、目ざされている多文化共生に向けて、居場所の拠点が実現できることを祈っております。

< 4-3 北沢川文化遺産保存の会 >

- ・見慣れた日常の中に地域の歴史・文化が投影された地図。ぜひ手に取つてまちに出たくなります。新版の作成には取材や資料の吟味など大変な作業も多いと思います。今後も版を重ねていけるよう取り組みの仲間を増やすとともに、この活動が他の地域へ波及していけるような工夫を期待します。

< 4 - 4 一般社団法人 イヴの木 >

- ・ジェンダー視点の防災というテーマや活動は理解できるのですが、それを推進する手段として、川柳やドラマの撮影、YOU TUBEでの配信が本当に助成金を原資とする活動としてベストな手段であるのか、今一度みなさんでよく検討しつつ、楽しく活動を展開されることを期待します。

< 4 - 5 M i s h u k u R . 4 2 0 >

- ・R.420さんの活動は歩道に設置したベンチ、にとどまることでは全くなくて、むしろベンチに係ることは一部に過ぎないことと思います。だからこそ今回のお話はベンチを設置した次の話であったわけですが、公共空間に設備を実装することができた、できているという、なかなか実現できないことから続く鉾脈も、引き続き丁寧に掘っていただければと期待しています。